

## 主な仕様

### フロントピックアップ

- マグネット:アルニコ2
- 直流抵抗値:7.83k $\Omega$
- レゾナントピーク:3.8kHz

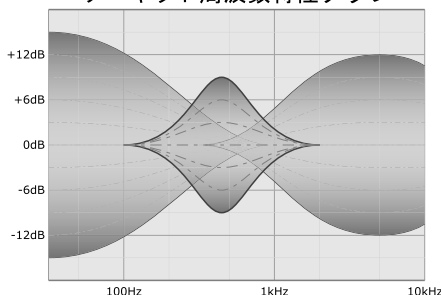
### リアピックアップ

- マグネット:アルニコ5
- 直流抵抗値:4.16k $\Omega$  (パラレル)  
8.32k $\Omega$  (スプリット)
- レゾナントピーク:4.4kHz (パラレル)

### サーキット

- 入力インピーダンス:500k $\Omega$
- 出力インピーダンス:1k $\Omega$
- 推奨負荷インピーダンス:10k $\Omega$ 以上
- 消費電力:8mA
- パッシブ、アクティブ、どちらにも対応

サーキット周波数特性グラフ



## 取付けの注意

- 裏面の配線図を参考に行ってください。
- パーツへ熱を加え過ぎたり、リード線を強く引っ張ると故障の原因になります。
- 楽器本体の改造を要する場合があります。その際の取付けはお求めになられた販売店もしくはお近くのリペアショップにご相談下さい。

## パッケージ内容

### フロントピックアップ

- ピックアップ本体 (tetsuya J5-69)
- 取り付けビス 4本

### リアピックアップ

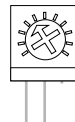
- ピックアップ本体 (tetsuya MM5-69)
- 取り付けビス 3本

### サーキット

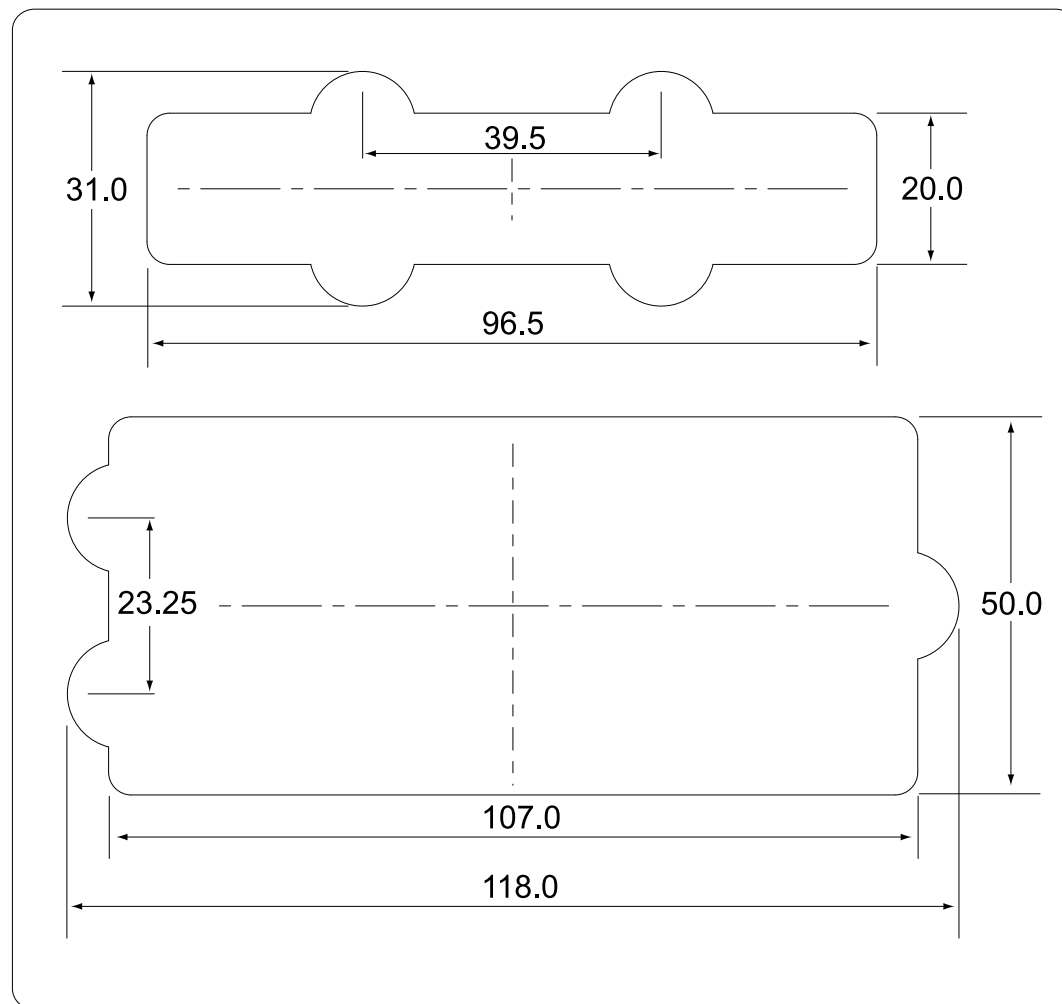
- サーキット本体 (tetsuya LC-1)
- ポット 50k $\Omega$  B 3個
- トリマーポット 100k $\Omega$
- アウトプットジャック(ステレオ)
- バッテリースナップ

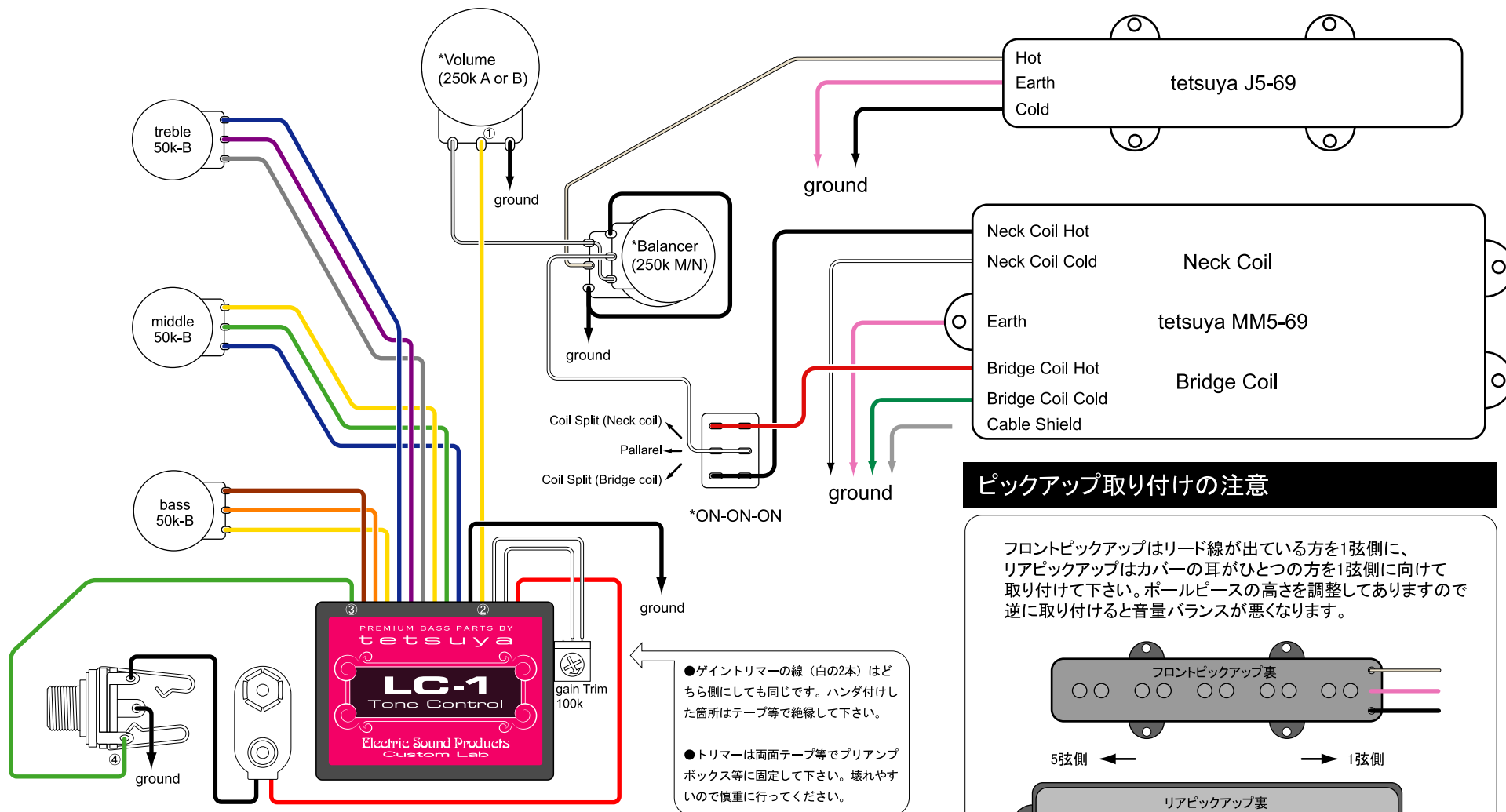
## 使用上の注意

- バッテリーは006P(9V)をご使用下さい。また、プラグを挿したままにすると電池は消耗しますので注意して下さい。
- トレブル、ミドル、ベースがそれぞれセンターの時、フラットな特性になります全てのレベルを上げ過ぎると音が歪む場合があります。EQツマミはセンターポジションを基本に音作りされることをお勧めします。
- ゲイントリマーの変幅は0dB(1倍)~+9dB(約3倍)です。右図目盛りの位置がtetsuya氏の基本セッティングです。ゲインもまた、上げ過ぎると音が歪む原因になります。
- トリマーポットの調整にはサイズの合った精密ドライバーを使用して下さい。また、トリマーの寿命は約100回転とデリケートなので扱いにご注意下さい。



## ピックアップキャビティーサイズ (実寸)





## ピックアップ取り付けの注意

フロントピックアップはリード線が出ている方を1弦側に、リアピックアップはカバーの耳がひとつの方を1弦側に向けて取り付け下さい。ポールピースの高さを調整してありますので逆に取り付けると音量バランスが悪くなります。

フロントピックアップ裏

5弦側 ← → 1弦側

リアピックアップ裏

- ゲイントリマーの線 (白の2本) はどちら側にしても同じです。ハンダ付けした箇所はテープ等で絶縁して下さい。
- トリマーは両面テープ等でプリアンプボックス等に固定して下さい。壊れやすいので慎重に行ってください。

## リアピックアップ配線バリエーション

●下記の配線でコイルスプリット、パラレルの他にシリーズが追加できます。

\*ON-ON-ON

Parallel

Coil Split (Bridge coil)

Series

ground

ボリュームポット等へ

## サーキット配線バリエーション

●下記の配線でプリアンプのバイパスが可能です。

\*ON-ON

プリアンプ・オン

プリアンプ・スルー

ボリュームポットより (図中①)

プリアンプ・インプットへ (図中②)

プリアンプ・アウトプットより (図中③)

ジャックへ (図中④)

\*図中のボリュームポット、バランサーポット、ミニスイッチは付属しておりません。元に付いていた物をお使い頂くか、別途お買い求め下さい。  
\*tetsuyaモデルピックアップとサーキットをセットでお使いになる場合のボリューム、バランサーの抵抗値は図中の値が推奨値です。他のピックアップをご使用になる場合は、ピックアップのメーカー推奨の物をご使用下さい。